

里子育ては謎解き

発見！感動！繋がり！

1 良い子はそんなに続かない

新人里子がやってきた。先輩里子が彼の言動を観察しながら言った。

「俺も 最初 あんなふうにお利口だった？」

「ううーん、1 カ月ぐらいいはね」

「良い子はそんなに続かんよ」

その通り。良い子は長くても1 カ月。その後は、「なんで??なんで???’の問題行動が頻発。さあ、ここから謎解きがスタート。

2 問題行動には 理由（わけ）がある

無断外泊を繰り返すA君

「俺 ずっと施設だったじゃん。施設外の子とあまりからめんかったから、誘ってくれたら超うれしくなって断れないんだよね」

嘘ばかりつくB君

「俺って嘘つきだよ。知ってた？」

「知ってるよ」

「嘘つかないと親父の虐待が終わらんかったんだって」

「ここは誰も虐待をしないから 嘘をつく必要ないんだよ」

「分かってる。でも癖になってて、すぐに口から嘘が出てしまう」

甘えっ子の施設育ちのC君

「俺 施設にいる時、大人とマンツーマンでしゃべったことないよ。問題をおこした時は別だけどね」

金づかいが荒いD君。

「自分専用の服買ってもらったことないよ。いつもお古で、身体に合わなかった。友だちがうらやましかった。ずっと我慢してた」

3 穴埋め作業に付き合う だから 失敗OK！ あまえOK！

その他にも、巨食、お金の持ち出し、反抗、友だちとのトラブル……。叱る前に、なぜそんなことをしてしまったのかを一緒に考える。すると彼らはボツリボツリと自分の過去を語り出す。虐待、貧困、施設生活の実態。満たされることがなかった数々、愛情・物・友だち・食欲・自由・自己肯定感・生きる意味……。

そうか！謎が解けた！

彼らは里親のところにやってきて、心の中のあちらこちらに空いた穴を必死で埋

め、満たそうとしているんだ。

だから、失敗も、あまえも、問題行動も、仕方ないこと。大人になるために必要なことなんだ。

里親の元でいっぱい失敗して、一緒に失敗の原因を考えて、一緒に失敗の後始末をしていこう。そうすることで失敗は減っていくし、自分の課題が見えてくるし、社会の中で生きる力がついてくる。自分への自信もついてくる。

いろんな問題行動は想定内。しんどくなったら児相がヒントをくれる。里親仲間が愚痴を聞いてくれる。

4 里親はいつもそばにいる人

「俺 大人なんか誰も信用しとらんよ。親も教師も児相も。でも今10%ぐらいいは信用してもいいのかなあと思えるようになったのは里親のおかげ」

「俺をおいて出て行った母親への憎しみで一杯で、なんで母親は俺を殺さなかったのか、殺してほしかったとずっと思っていたけど、里親のところに来て、あの時殺されなくてよかったなあと思ってしまう」

「俺には夢なんかない。ただ普通の生活がしたいだけ。それで大人になったら俺も里親やる」

「家に帰るといつも里親が家にいる、いつもご飯ができています。それがうれしい」

普通に生きてきた私が知らない世界で生きてきた、生き抜いてきた彼らの生命力に感動し、出会わせていただいたことに感謝の毎日。「いつもそばにいてくれてありがとう」と感じているのは彼らも里親も同じ。

5 幸せに生きていくチャンスをもたらえたね

彼らに最初に、しっかりと伝えていることは

- ① 幸せに生きていくチャンスをもたらえたね。チャンスを運んでくれたのは児童相談所。里親は君が幸せになるためのお手伝いをする人
- ② 君の生活費や教育費は里親ではなく国民の税金で支払われている。でもそのことを恥ずかしく思わなくていい。憲法で決められている子どもの権利だから
- ③ 税金を納めることのできる大人になることが社会への恩返し
- ④ 自立してもここはあなたの実家だよ